



くつろぎたいむ

Vol. 72

2020 Spring

がんゲノム医療連携病院に認定されました 当院での「がん遺伝子パネル検査」導入について



ゲノム診療科部長

曳野 肇

当院はこのたび、がんゲノム医療連携病院として厚生労働省から認定されました。今後、がんゲノム医療中核拠点病院である岡山大学と連携し、「がん遺伝子パネル検査」が行えるようになります。

私たちの身体は約37兆個の細胞からできています。その細胞および身体の設計図が遺伝子で、遺伝子と遺伝情報の全体を「ゲノム」といいます。この遺伝子が正常に機能しなくなる遺伝子変異の結果、異常なタンパク質（分子）が作られ、がん細胞が発生し、増殖していきます。近年の医学の進歩に伴い、がんの原因となる遺伝子変異が次々と明らかになっており、そこで生じた異常な分子を標的とし、がん細胞の増殖を抑える分子標的薬もどんどん開発されています。

このゲノム情報に基づく治療としてすでに、肺がん、乳がんなどで、少数の遺伝子を調べる「がん遺伝子検査」が行われ、分子標的薬により著明な効果が得られた患者さんも数多くいらっしゃいます。それを発展させたものが、「がん遺伝子パネル検査」です。手術などで採取したがん組織のゲノム情報を大量に読み取る「次世代シーケ

ンサー」という装置により、がんの遺伝子を網羅的に調べます。そして乳がんであっても大腸がんの薬を使うというように、がん種の垣根を越えて原因となっている遺伝子変異に応じた治療薬を選択します。また、そこで得られた知見は「がんゲノム情報管理センター」と呼ばれる国の機関に集積され、今後の研究に役立てられます。

先進的な取り組みであることから、「がん遺伝子パネル検査」が行える病院は、現在、厚生労働省から認可された全国206施設に限られます。適応は標準治療が終了した固形がんや、標準治療が確立されていない原発不明がん、希少がんなどで、全身状態や臓器機能が保たれている患者さんです。

昨年6月に「がん遺伝子パネル検査」の一部が保険適応になりました。自費検査の場合、費用は40〜70万円程度かかりますが、保険適応の場合、168,000円（3割負担）で、「高額療養費制度」が使えます。

留意すべき点は、結果がわかるまでに2か月弱かかること、実際に治療に結びつく薬剤が見つかる割合は約1割であること、治療のため遠方の病院への通院が必要になる場合があることなどです。

これまでの治療にはない新しい選択肢を得る方法として、「がん遺伝子パネル検査」が果たす役割は大きいでしょう。当院では患者相談・サポート室が窓口となっています。いつでもご相談ください。



Clinical Department

診療科紹介

呼吸器内科

呼吸器内科は3名の医師で診療しております。呼吸器専門医は2名で、その内1名はがん薬物療法専門医、感染症専門医、アレルギー専門医です。日常診療から救急診療まで、急性期から慢性期まで非常に多くの外来・入院患者の診療にあたり、少数精鋭ですが地域医療のため頑張っています。

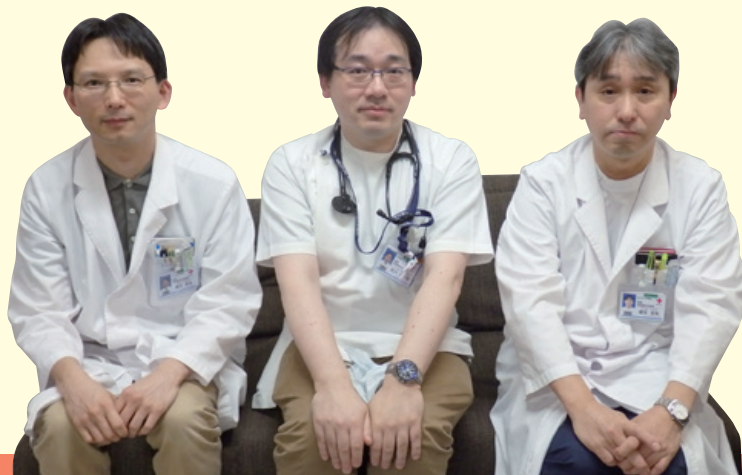
肺は他臓器と比べて病気の種類がはるかに多く、気管支炎、肺炎をはじめ、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、気管支喘息、間質性肺炎や肺癌、睡眠時無呼吸症候群、慢性呼吸不全などが呼吸器内科の対象疾患となります。

入院では肺癌患者を最も多く診ています。全国がん統計では、2017年の死亡数が多い部位では、肺が男性で1位、女性で2位で、

2014年の罹患数が多い部位では、肺が男性で2位、女性で4位です。肺癌診療では、気管支鏡検査で検体を採取し、細胞・組織検査を行い、画像検査で転移検索を行い、肺癌の診断となりましたら病期を決定して、治療方針をたてます。ステージI、II期であれば、呼吸器外科へ紹介し手術療法となります。呼吸器外科とはカンファレンスを行い、手術への流れが円滑となるように緊密な連携をとっています。ステージIII期であれば、主に放射線化学療法となりますが、放射線治療専門医と緊密に連携をとって適正な標準治療を行っています。ステージIV期は抗癌剤治療を行います。新薬開発が進み日進月歩であります。近年免疫療法として免疫チェックポイント薬が肺癌治療において使用できるようになり、高い臨床効果を認めています。呼吸器内科では免疫チェックポイント薬を軸にしつつ、標準療法を行っています。当院の肺癌における5年生存率は、III期で36.6%、IV期で8%です〔全国集計ではIII期20.1%、IV期4.7%（がん情報サービス）〕。

当院では呼吸器疾患による息苦しさを改善し、日常生活を送れるようにするため呼吸リハビリを積極的に取り組んでいます。5名の呼吸を専門とする理学療法士がおり、そのうち呼吸療法認定士が4名、

認定呼吸理学療法士が2名、呼吸ケア指導士が1名おり、専門性の高い呼吸リハビリを行っています。また病棟には慢性呼吸器疾患看護認定看護師、呼吸療法認定看護師、がん化学療法看護認定看護師、緩和ケア認定看護師、緩和ケアアドバイザーを持つ看護師がおり、呼吸器疾患での入院で専門性の高い看護を行っています。



地域の皆様に、急性期から慢性期まで、専門性の高い、最適な医療を行えるように、医師、看護師、リハビリ療法士とワンチームとなつて努力しています。

整形外科

熊橋 伸之

膝関節外科を専門としております。お困りの方は、外来受診してください。お待ちしております。

整形外科

有福 佑

整形外科の有福と申します。島根県益田市出身で、一度も島根県を出ることなく今日に至っております。松江圏域の皆様のお力になれるよう精一杯取り組んで参ります。

心臓血管外科

中村 嘉伸

部長として赴任した中村です。鳥取大で心大血管手術約1800例の執刀を行って参りました。この経験を生かして当院でもより良い安全な治療をご提供いたします。

心臓血管外科

池田 陽祐

患者さん一人一人に丁寧に寄り添います。お困りのことはお気軽にご相談ください。

心臓血管外科

石黒 眞吾

このたび、当院で心臓血管外科医として臨床のお手伝いをさせていただくことになりました。外科医としての旬はとくに過ぎておりますが、少子高齢化社会の中、現場での医療を臨床医としてもう一度見つめてみたいと思っております。

救急総合診療科

田邊 翔太

総合診療・救急・集中治療を学んできました。病気の種類に関わらず、患者さんにとって最善の医療をしていきたいと思っております。



Clinical Department
診療科紹介
呼吸器外科

呼吸器外科では肺癌をはじめ、縦隔腫瘍、転移性肺腫瘍、気胸、膿胸、胸部外傷、手掌多汗症など様々な疾患に対して手術を中心とした診療をしております。2019年の4月から2人体制です。

肺癌では腫瘍の大きさや進展の具合、さらに呼吸機能、年齢により切除範囲を決定します。悪性疾患に対してできる限り早い時期に手術が行えるように努めております。

当科では、肺癌を含めて基本的に胸腔鏡を使用した低侵襲手術を行っております。疾患や腫瘍の大きさ、進展の程度、リンパ節転移の状態などで開胸手術や胸骨正中切開を行うこともあります。肺の一部を切除する手術や気胸、膿胸などの手術は1時間程度で終わります。肺癌に対する標準治療は肺葉切除とリンパ節郭清術ですが、

通常2〜3時間程度で終わります（リンパ節転移を伴う場合や拡大手術ではさらに時間がかかります）。術後はその日のうちにお茶を飲んでもらい、翌日には食事が始まり一般病棟に移ります。2日目には胸の管（ドレーン）が抜け、3日目にはシャワーが可能で、術後1週間で元気に歩いて退院できます。肺の部分切除や気胸などでは、術後4〜5日で退院が可能です。退院後は仕事やゴルフなど、今までどおりの社会生活に戻ることが可能です。80代の方でも今までどおり畑仕事や散歩ができます。

肺癌は高齢者に多く、様々な合併症をお持ちの患者さまもみえます。その患者さまに対しても手術ができるよう、呼吸器内科、循環器内科、リハビリテーション科、糖尿病・内分泌内科、歯科口腔外科、麻酔科など複数の診療科の専門スタッフと協力して合併症の評価、治療を行い、早期に退院できるように努めております。

退院後は特に肺癌の場合、定期的な外来で画像検査と血液検査を行い、再発がないかをチェックします。再発が疑われる場合は速やかに精密検査を行い、治療が必要かどうかを調べます。再発治療は外科治療、薬物治療、放射線治療があります。患者さまの状態に応じて選択します。再発による痛みがあれば、飲み薬だけでなく放射線で治療（緩和照射）することも可能です。呼吸器内科、放射線治療科とも連携を取り、患者さまと相談して最善の治療を

選択します。

手掌多汗症はまだ認知度が低い疾患の一つですが、日常生活に支障をきたすことがあります。手掌発汗の程度により、湿る程度（グレード1）、水滴ができる（グレード2）、水滴が滴り落ちる（グレード3）の3つに分けられます。一般的にグレード2およびグレード3の方が手術適応とされます。5mmのカメラを使用して胸腔鏡下胸部交感神経切断術を施行しています。一般的には中学生以上の方が手術の対象としています。1泊2日の入院が基本です。手術による代償性発汗という副作用がありません。この副作用で悩む方もみえます。外来でよく相談をして、医師の説明に同意されれば手術が可能です。どうぞご相談ください。

外来受診時から退院後の外来通院まで、患者さまに寄り添う医療を心掛けております。また患者さまが話しかけやすい診療科を目指しております。どうぞよろしくお願いたします。



Hello Doctors

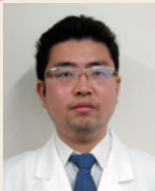
4月採用医師紹介



糖尿病・内分泌内科

入江 慎太郎

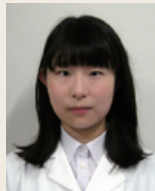
大学から岡山に出ておりましたが、このたび郷里の松江に帰ってくる事となりました。糖尿病が専門で、患者さんの人生に寄り添った診療を心がけています。



精神神経科

木山 典子

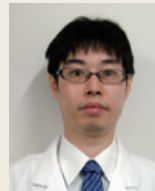
鳥取大学病院より参りました。未熟者ではありますが、皆様の心身の健康について、一緒に考えていけたらと思います。どうぞよろしくお願いたします。



外科

谷浦 隆仁

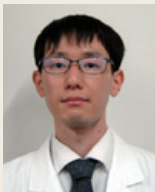
4月から新しく外科に配属された谷浦と申します。島根出身で、ずっと島根で生活していますが、松江は初めてです。よろしくお願いたします。



消化器内科

野津 巧

新しく赴任して参りました野津巧と申します。松江出身で地元貢献できるような頑張ります。よろしくお願いたします。



小児科

森藤 祐次

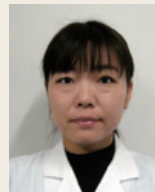
はじめまして。4月から赴任して参りました森藤と申します。小児科の中でも、主に循環器分野を専門としております。何か心配なことがございましたら、お気軽にご相談ください。



外科

永嶺 彩奈

外科として赴任して参りました永嶺と申します。好きなことは食事です。不慣れな点が多々ありますが、よろしくお願いたします。



初 島根県内での特定行為研修を修了した看護師が誕生

島根県内で初の特定行為研修修了者が誕生しました。

特定行為研修とは、2025年に向け在宅医療などの推進を図るため医師または歯科医師の手順書による包括的な指示のもと、一定の診療の補助を行う看護師を養成し、確保していくために2015年に施行された制度のこと。

特定行為は21区分38行為あり、例えば「創傷管理関連区分」や「呼吸器（気道確保）関連区分：気管チューブの位置の調整行為」、「栄養・水分管理関連区分：脱水の輸液補正行為」などがあります。

研修を修了したのは石飛仁美看護師長で、創傷管理関連を担当します。

●特定行為研修を修了した石飛看護師長より

松江赤十字病院が高度急性期医療から地域・在宅医療まで多岐に渡る役割を担っている中で、地域包括ケアを念頭に置き、患者さまの入院期間のみならず退院後の在宅療養を支えるために、より自律してケアを提供できる看護師になれるよう、患者さまの一番身近にいる看護師であることの強みを活かしたタイムリーな特定行為実践ができるよう、診療補助行為の拡大により医師の負担軽減が図れるよう、日々研鑽していきたいと思っております。



水色のストラップが「特定行為」を行う看護師の目印です



2020年度 前期

健康医学講座

受講料
無料

【講演時間】 14:00～15:00 【受付開始時間】 13:30～ 【場所】 本館6階講堂

申込・問い合わせ先 … 医療社会事業課 TEL(0852)24-2111(代) (受講は事前にお申込みください)

6/18

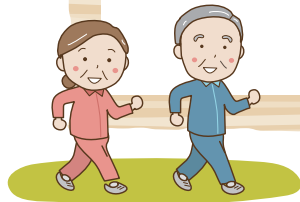
健康寿命をのばす
—運動と寿命の関係—

理学療法士 渡邊 剛

7/16

今考えよう、始めよう人生会議
(アドバンス・ケア・プランニング:ACP)
—もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて話し合おう—

第一産婦人科部長(医療倫理検討部会長) 真鍋 敦



※状況により中止になる可能性がありますので、ご了承ください。

■病院理念……わたしたちは、『人道』の赤十字精神に基づき地域の医療に貢献します。

■基本方針……

- ① 地域の基幹病院として、説明と同意に基づく「高度」「良質」な医療を提供します。
- ② 急性期病院として保健・医療・福祉・介護機関との連携を進め、最善の医療を行います。
- ③ 救急病院として24時間地域の健康を守ります。
- ④ 赤十字病院として災害救護に貢献します。
- ⑤ 教育病院として次世代の医療人を育てます。

＋ 松江赤十字病院 『患者さまの権利』

- 1. ひとりの人間として人格と価値観を尊重される権利があります。
- 2. 医療提供者との相互協力のもと、良質な医療を公平に受ける権利があります。
- 3. 検査・治療法などの自分が受ける医療の内容について、わかりやすい言葉や方法で説明を受ける権利があります。

- 4. 説明を十分理解し同意した上で、医療行為を受けるかどうか自分の意志で選択する権利があります。
- 5. 医療行為の選択にあたって、他の医療者の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。
- 6. 診療の過程で得られた個人情報、個人の秘密として厳正に保護され、承諾なしには開示されない権利があります。
- 7. 自分が受けている医療内容を知るために、診療録の開示を求める権利があります。

私たちが、上に掲げた患者さまの権利を尊重した医療を提供するために、患者さまには次のことをお願いいたします。

- ① 自分の健康に関する正しい情報の提供 ② 医療への積極的な参加 ③ 病院の規則を守ること ④ 研修医、医学生、看護学生などの研修・実習・見学への理解と協力